

# 交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。  
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

## モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

第7期末（2019年2月25日）	
基準価額	21,672円
純資産総額	39,633百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	+11.1%
分配金合計	500円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第7期（決算日：2019年2月25日）

作成対象期間

（2018年2月24日～2019年2月25日）

信託期間を従来の2022年2月23日から2027年2月23日へ延長しました。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得により、信託財産の成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ■ ファンドマネージャーのコメント

### ◆ 当期の運用で主眼を置いたポイント

- ・2017年の強気相場を経た結果、株式のバリュエーションは高まっており、市場が大きく下振れするリスクがあると考えました。このような中、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、従来通りのポートフォリオ構築に努めました。実際に株式相場が下落する局面では、当ファンドの底堅いパフォーマンスが際立ちました。
- ・主な投資行動としてはヘルスケアセクター、生活必需品セクターで新規組入を行いました。ヘルスケア、生活必需品、そして情報技術セクター内のソフトウェア・サービス業種はリーマンショック後の金融危機において非常に高い利益の耐久力を示しており、今後想定される景況感悪化局面においても、底堅い業績と株価パフォーマンスが期待できると考えます。
- ・保有銘柄のうちBRITISH AMERICAN TOBACCO PLCは下落しました。当期はJUUL LABS INCの電子たばこの激しい競争、REYNOLDS AMERICAN INCの高額な買収の負債負担、米国食品医薬品局（FDA）による米国内の将来的なメンソールたばこの規制方針発表などを背景に下落しました。足下の株価は割安であるとみており、引き続き保有しています。なお、たばこ株ではPHILIP MORRIS INTERNATIONALを選好して多く保有しています。

### ◆ 今後の見通し

- ・景気低迷が世界的に同時進行する兆候があるとみており、特に中国の景気減速を懸念しています。企業の業績予想値は悪材料を織り込みきれていないと考えており、世界の企業利益の下振れが懸念されます。またBBB格（投資適格社債の中で最も格付が低い）の米国社債の残高拡大も懸念しています。米国が景気減速した際に、米国社債市場が混乱することによって投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が低迷することを想定しています。

### ◆ 運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「生活必需品」「ソフトウェア」「ヘルスケア」などの「プレミアム企業」に注目しています。



上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド  
 インターナショナル・エクイティ運用チーム  
 運用責任者  
 ウィリアム・ロック  
 ファンド・マネジャー  
 ブルーノ・ポールソン

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第7期：2018/2/24～2019/2/25）

#### 基準価額の動き

基準価額は、期首に比べ11.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

MICROSOFT CORP（米国）やTWENTY-FIRST CENTURY FOX（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

（2018年2月24日～2019年2月25日）

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。


項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	415円	1.960%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(242)	(1.143)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(161)	(0.762)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 12)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	( 4)	(0.017)	
(c) 有価証券取引税	17	0.079	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 17)	(0.079)	
(d) その他費用	7	0.031	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 4)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	( 2)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	443	2.087	
期中の平均基準価額は、21,172円です。			

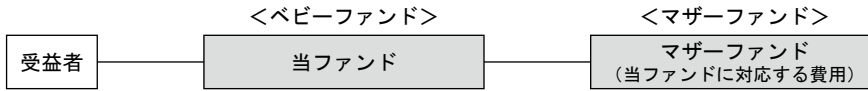
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

（2014年2月24日～2019年2月25日）



・分配金再投資基準価額は、2014年2月24日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/2/24 期初	2015/2/23 決算日	2016/2/23 決算日	2017/2/23 決算日	2018/2/23 決算日	2019/2/25 決算日
基準価額（円）	14,842	18,030	16,761	18,683	19,955	21,672
期間分配金合計（税込み）（円）	—	500	400	400	400	500
分配金再投資基準価額騰落率	—	24.8%	-4.8%	13.9%	8.9%	11.1%
参考指数騰落率	—	8.6%	-10.2%	20.7%	17.1%	0.5%
純資産総額（百万円）	6,484	5,996	7,051	8,408	19,749	39,633

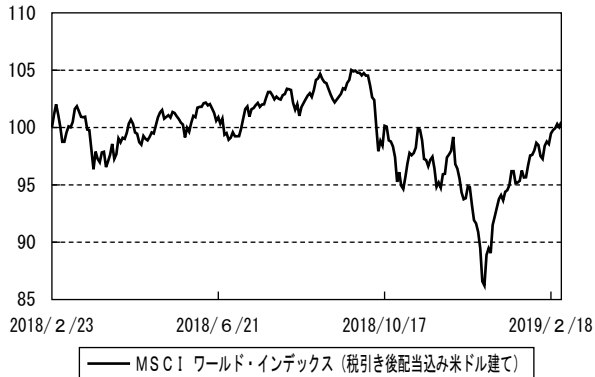
・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 ・参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

（第7期：2018/2/24～2019/2/25）

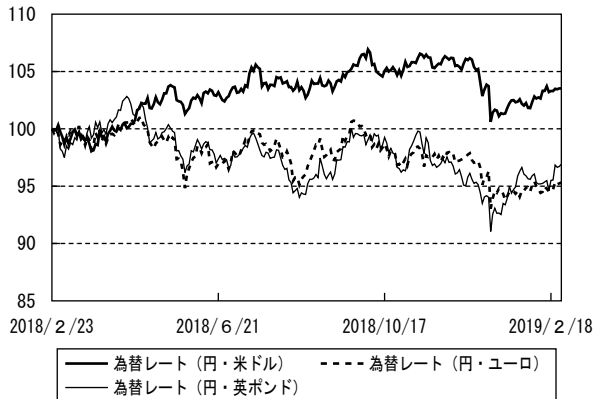
### 参考指数の推移 （期首を100として指数化）



#### ◎株式市況

・先進国株式市場は上昇しました。期初から2018年9月末にかけては、堅調な米国経済指標や米国企業決算が好調であったことなどから上昇しました。10月から12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界経済の不透明感の高まりなどを背景に下落しました。2019年1月以降は米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言がハト派であったことなどから上昇しました。セクター別では、公益事業や不動産などが上昇する一方で金融や素材などは下落しました。

### 為替市況の推移 （期首を100として指数化）



#### ◎為替市況

・米ドルは、堅調な米国経済指標などを背景に対円で上昇しました。ユーロや英ポンドはイタリアの政情不安などを背景に対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### ＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）＞

・モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

### ＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド＞

基準価額は、期首に比べ13.4%の上昇となりました。

- ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

#### ◎主な新規組入銘柄

- ・ABBOTT LABORATORIES（米国）：米国を基盤として医療用品、診断器具、栄養食品などを手がけるヘルスケア企業。多くの分野で高いシェアを誇っており、特に診断器具や栄養食品などの分野における今後の成長を期待して新たに組み入れました。
- ・CHURCH & DWIGHT CO INC（米国）：米国を主要市場とする家庭用品・パーソナルケア用品の製造会社。効果的な買収を行っている経営陣を評価したことに加え、株価も割安な水準にあると判断して新たに組み入れました。

#### ◎主な売却銘柄

- ・ALTRIA GROUP INC（米国）：同じたばこ銘柄の中で相対的に業績期待が高いと判断したPHILIP MORRIS INTERNATIONALを買い増しするため、全株売却しました。
- ・INTL FLAVORS & FRAGRANCES（米国）：同業他社の買収が発表されたものの、負債増加と業績先行きの不透明感に対する懸念から、全株売却しました。



以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ MICROSOFT CORP（米国）：クラウド関連事業の成長性に対する期待や市場予想を上回る決算を発表したことなどによって、株価が上昇しました。
- ・ TWENTY-FIRST CENTURY FOX（米国）：WALT DISNEY CO/THEとCOMCAST CORPによる買収価格の引き上げ期待などから、株価が上昇しました。

当期は、主に組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

（ご参考）

業種別比率

期首（2018年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	41.8%
2	情報技術	30.3%
3	一般消費財・サービス	9.1%
4	ヘルスケア	7.1%
5	資本財・サービス	5.7%
6	金融	2.7%
7	素材	0.8%

期末（2019年2月25日）

	業種	比率
1	生活必需品	39.3%
2	情報技術	26.3%
3	ヘルスケア	14.8%
4	コミュニケーション・サービス	7.1%
5	資本財・サービス	6.1%
6	金融	2.7%
7	一般消費財・サービス	2.1%



・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

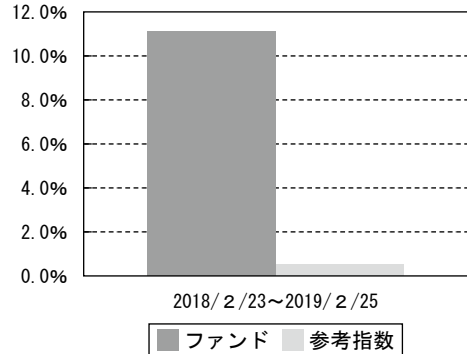
・業種はG I C S（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいております。Global Industry Classification Standard（“G I C S”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。G I C Sに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。
- ・参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算していません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第7期
	2018年2月24日～2019年2月25日
当期分配金	500
(対基準価額比率)	2.255%
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,671

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

### <モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・景気低迷が世界的に同時進行する兆候があるとみており、特に中国の景気減速を懸念しています。企業の業績予想値は悪材料を織り込みきれていないと考えており、世界の企業利益の下振れが懸念されます。またBBB格（投資適格社債の中で最も格付が低い）の米国社債の残高拡大も懸念しています。米国が景気減速した際に、米国社債市場が混乱することによって投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が低迷することを想定しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「生活必需品」「ソフトウェア」「ヘルスケア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・信託期間を従来の2022年2月23日から2027年2月23日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年5月23日）

### ◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

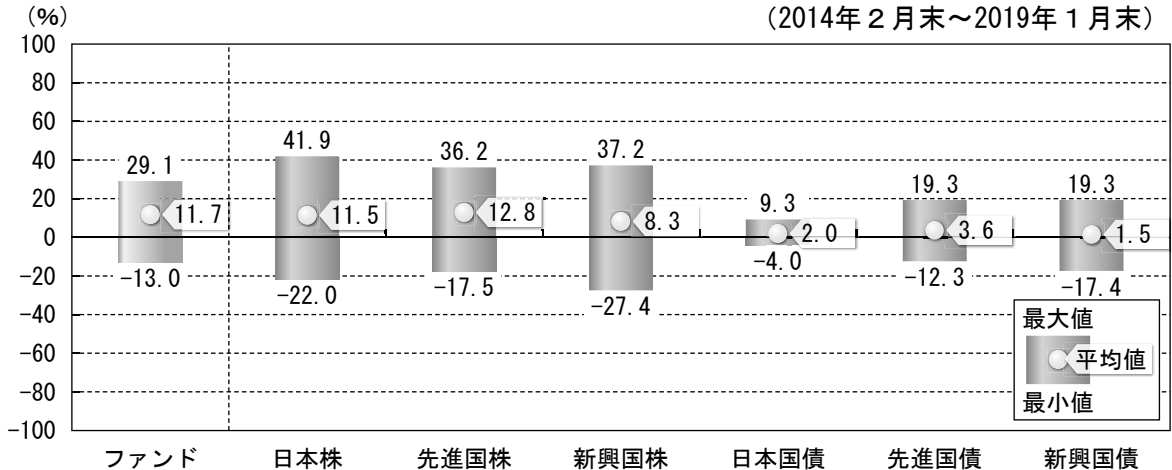
\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年2月23日〔当初、2022年2月23日〕まで（2012年2月17日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム 株式オープン マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。</li> <li>・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。</li> <li>・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。</li> <li>・外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	毎年2月23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年2月から2019年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

（2019年2月25日現在）

#### 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	第7期末 2019年2月25日
<input checked="" type="checkbox"/> モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	99.5%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

上記  の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

#### 純資産等

項目	第7期末 2019年2月25日
純資産総額	39,633,568,587円
受益権口数	18,288,213,375口
1万口当たり基準価額	21,672円

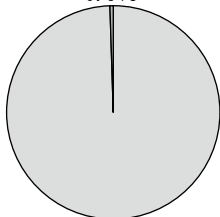
・当期中において  
追加設定元本は11,798,349,409円  
同解約元本は 3,407,122,677円です。

#### 種別構成等

##### 【資産別配分】

コール・ローン等

0.5%



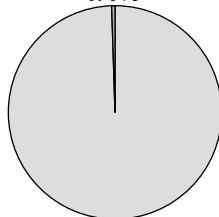
マザーファンド受益証券

99.5%

##### 【国別配分】

その他

0.5%



日本

99.5%

##### 【通貨別配分】

円

100.0%

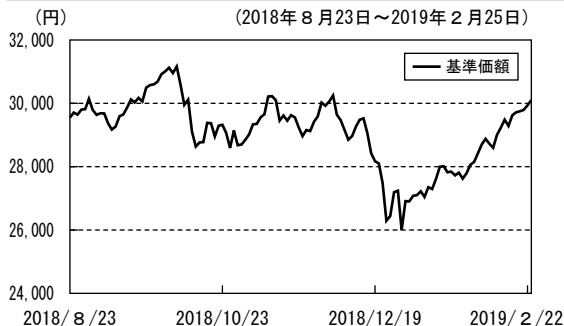
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

モルガン・スタンレー グローバル・  
プレミアム株式オープン マザーファンド

（2019年2月25日現在）

### 基準価額の推移



### 組入上位10銘柄

（組入銘柄数：30銘柄）

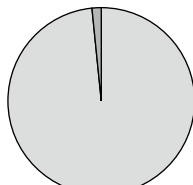
	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	株式	イギリス	生活必需品	7.7%
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	情報技術	7.1%
3	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	株式	アメリカ	生活必需品	6.5%
4	UNILEVER PLC	株式	イギリス	生活必需品	5.0%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	株式	アメリカ	情報技術	4.9%
6	ACCENTURE PLC-CL A	株式	アメリカ	情報技術	4.4%
7	SAP SE	株式	ドイツ	情報技術	4.3%
8	TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A	株式	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.9%
9	BAXTER INTERNATIONAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア	3.9%
10	HEINEKEN NV	株式	オランダ	生活必需品	3.7%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

### 種別構成等

#### 【資産別配分】

コール・ローン等  
1.6%



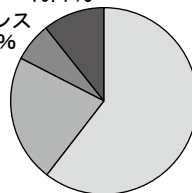
外国株式  
98.4%

#### 【国別配分】

その他  
10.7%

フランス  
6.7%

イギリス  
22.1%

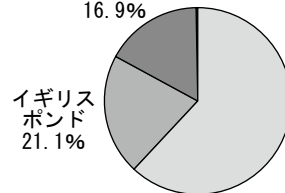


アメリカ  
60.5%

#### 【通貨別配分】

その他  
-0.3%

ユーロ  
16.9%



イギリス  
ポンド  
21.1%

アメリカ  
ドル  
62.3%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

### 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	2円	0.006%
（株式）	(2)	(0.006)
(b) 有価証券取引税	10	0.033
（株式）	(10)	(0.033)
(c) その他費用	2	0.009
（保管費用）	(2)	(0.009)
合計	14	0.048

期中の平均基準価額は、29,093円です。

（2018年8月24日～2019年2月25日）

- （注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- （注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

154045



## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）』について

参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信